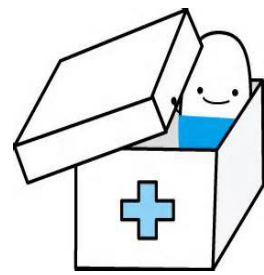


# もうひとつの おきぐすり



「じいちゃん、トイレのタンクに水が溜らないの。」

どれどれ、「あーこれは、フィルターの詰まりとパッキンの劣化だな。

ホームセンターで部品を買ってくるから、ちょっと待ってて。」

じーちゃんは、買ってきた部品を簡単に取り付けて、「はい、これで水が溜るよ。」

いつもの風見家の光景です。私の父は、とにかく器用で大体の物は直してしまいます。

反対に私は、超がつく不器用で、なおかつ破壊王です。それを知っている子供達は、最初から

このようなことは、じいちゃんに頼みます。

いつも、修理が終わった後に原因と修理方法を教えてもらうのですが、進歩も上達もしません。

ただ、機械も道具も体と同じだな、と感じます。壊れた場所には必ず原因があり、その原因を

修復することで元に戻ります。

この間は、娘のベース(エレクトリックベースギター)のストラップを取り付ける金具がぐらついてしまい

ました。原因は、ボディに埋め込んであるねじ穴が広がったことで起きていました。

ボディは木で出来ている為、ねじ穴を別の所に作りそこに金具を付けるのかと思いきや、

「つまようじを削り4つの薄い短い棒を作り、それをねじ穴に縦に入れ、そこにねじを回して入れました。

つまようじがねじ穴の中でねじに噛んで、グラグラしなくなりました。「なるほど！」

またまた結果だけ見て、知識が増えただけの私でした。

こんな時いつも感じることがあります。体を治すプロは医者ですよね。風邪という体の故障を治して

もらいに通院したときのことを思い出します。

「喉が赤いですね。咳も出て熱も38度あります。薬を4日分出しておきますので、飲んで下さい。」

「お大事に。次の方どうぞ。」 あれ？診断名も無ければ、治療もないです。

正しくは、こうだと思います。

「喉が赤いですね。咳もでて熱も38度あります。炎症が起きていますので何かのウイルスに感染

しているようです。ウイルスの特定は検査機関に出して1週間かかってしまいますので、何のウイルス

かは判りませんが、今同じ症状の患者さんが多く来院してますので、おそらく流感、風邪でしょう。

風邪は、咽頭などにウイルスが侵入して感染する疾病ですが、体のもつ免疫がこれを退治して治します。

体を休め、温かく栄養価の高い物を摂り、3~4日間安静にして下さい。尚風邪を起こすウイルスは、

湿度と温度に弱いですから、部屋を70%以上の湿度と25℃以上の温度にして下さい。

咳が辛そうなので、咳止めを出しておきます。咳は体を守る免疫反応の一つなので、止めることは

治療にはならないのですが、咳によって体力が奪われてしまうと免疫力が落ちてしまいますので、辛いようでしたら飲んでみて下さい。体を休めてあげれば4日で治るでしょう。お大事に。」

こんな感じですかね。物の故障と同じように、体の疾病にも必ず原因があり、その原因を治す方法が存在します。でも大体は、疾病が起こしている症状に目が行ってしまい、その症状を止めることが治療だと思ってしまう。原因が分からずに症状だけを抑えてしまうので、薬が止められなくなったり、原因が更に進み病気を重たくしてしまったりします。

父の修理を見ていていつも感心します。原因を見つけるまで作業し続けます。原因が分かれば後は仕組みを理解します。そして修理に取り掛かります。

体も、まず仕組みを知ることが大事だと思います。そうすれば、病気になった時に本当の治癒する方法がみつかります。それ以上に、壊れないよう予防をするようになるかもしれません。

今回は、父のように器用になりたいけれど、口ばっかりの私の話でした。

それではまた

